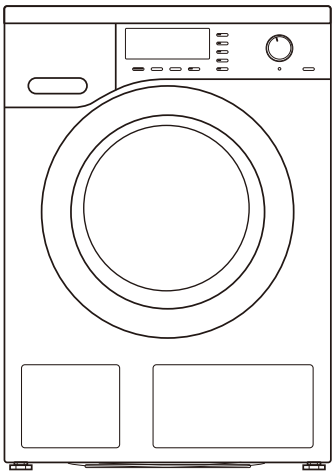
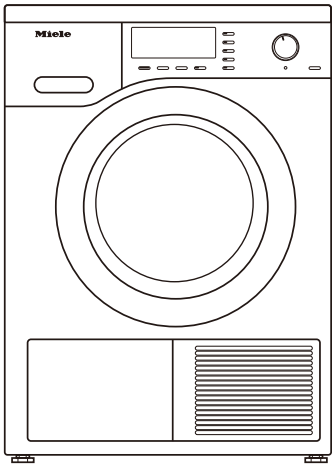
Miele

設置・施工手順書

W1
洗濯機



T1
衣類乾燥機



- **本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。**
- **設置・施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。**

お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガのおそれがあります。
据付設置は、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12オリックス目黒ビル4階
電話(03)5740-0030　FAX(03)5740-0035

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ
http://store.miele.co.jp/
またはミーレ・カスタマーサービス（通話無料）までお問い合わせください。

ミーレ・カスタマーサービス
固定電話：0120-310-647（フリーダイヤル）
携帯電話：0570-096-300（ナビダイヤル）
■受付時間　月～金 9：00～17：00（土日・祝祭日休業）

W1&T1-Inst-211101

設置・施工の流れ

作業はこのフローの手順にしたがって行ってください。
作業要領・詳細はフローの番号（ページ）に図説があります。

1 安全上のご注意 …P1

2 設置上の注意（所要設備・電源） …P1

3 準備

- 電源・給排水管の配置 …P2
- 所要設備（設置床面の確認／床の補強） …P3
- 隣接するキャビネットの加工 …P4
- 並列に設置する場合の注意点 …P5

4 設置の前に…

- ⚠ W1洗濯機：輸送用固定ボルトの取り外し …P5
- ⚠ W1洗濯機 ： 本体の水平を確認（異常振動を防ぐために） …P6
- ⚠ T1衣類乾燥機 ： 本体の水平を確認 …P6

5 設置

- ビルトインカバーの取り付け（W1洗濯機） …P7
- ビルトインカバーの取り付け（T1衣類乾燥機） …P8
- A 2段積み W1+T1 2段積みキットWTV501の場合 …P9～10
- B 2段積み W1+T1 2段積みキットWTV511の場合 …P11～12
- T1衣類乾燥機の排水：外部水路への取り付け …P13

6 試運転

- W1洗濯機
- T1 衣類乾燥機 …P14

1 安全上のご注意

本手順書では、次のマークの箇所で人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

●本製品は「消防法 告示第一号（対象火気設備等及び火気器具等離隔距離に関する基準）」に適合しております。
建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離(mm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	（開放）	0

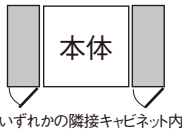
※本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。

2 設置上の注意（所要設備・電源）

⚠警 告

実行しなければならない内容です。

- 給水：作動水圧1.0～10kg/cm²
  1/2" FL400mm以上立ち上げてください。
- 機器を設置する床はコンクリートスラブに直か、もしくは根太にて頑丈に補強してください。
  （本体の重量、および運転時の荷重対応のため）
- 全自動洗濯機は全てポンプによる強制排水方式です。
  （揚程1m）
  排水管は必ず200mm以上立ち上げてください。
- 給水バルブはユーザーが容易に操作できるような向きで取り付けてください。
  給湯接続はしないでください。
- 電源、給排水は左右いずれかに設備してください。



左右いずれかの隣接キャビネット内

- 電源工事や接地工事は電気設備技術基準に準じて行ってください。
- 設置床面は水平・平坦にし、後で本体を手前に引き出せるようにしておいてください。
- 排水管は耐熱塩ビ管HTを使用してください。
  （HT40相当）
- 本体の金属部分が、家屋の金属板や流し台のステンレス板に電気的に接触しないようにしてください。
  漏電した場合、火災の原因になります。
  （法令：電気設備の技術基準第167条・平成13年）
- 給・排水工事はすべて水道法、建築基準法、および貴都市の条例、規定に準じて行ってください。
- 電源：単相200V 専用コンセント アース付 [⏚] 相当品
  パナソニック WK3012（露出型）
  パナソニック WN1112K（埋込型）
  P2.準備：「専用回路の設置」の項を参照のこと。
- **※D種接地工事を必ず行ってください。**
  万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器を必ず取り付けてください。（法令で規程）

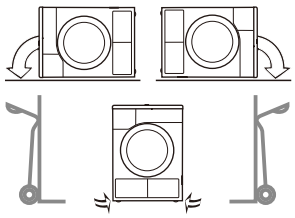
してはいけない内容です。

- 本製品はいずれも家庭用機器です。
  業務用には使用しないでください。
- 本製品は、木造住宅の2階以上には設置しないでください。
  振動音が大きくなる要因になります。
- 電源コードを切断、および直結することは絶対にしないでください。電源コンセントはそれぞれの機器に単独で、専用に設けてください。
- 本製品は寒冷地仕様ではありません。
  凍結の恐れがある場所（室温0℃以下）には設置しないでください。
- 給湯器などによる温水接続はしないでください。
- 水場や浴室など、湿気の多い場所に設置しないでください。（感電・火災のおそれ）
- 直射日光が当たる場所、窓や換気扇のない場所に設置しないでください。

乾燥機の運搬時の注意

⚠乾燥機の運搬時の注意

●誤った移動方法によるけがや物的損害の恐れがあります。乾燥機を傾けると、けがや物的損害の危険があります。運搬中は乾燥機を安定させてください。



乾燥機を運搬する際、基本は乾燥機を立てた状態で運搬して下さい。
乾燥機を横にして運搬しなければいけない場合、必ず左または右側面を下にしてください。

乾燥機を立てた状態で手押し車で運ぶ場合、必ず左または右側面を手押し車に寄せた状態にしてください。

⚠乾燥機の設置場所への運搬

●天板突出部分の後ろが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと、運搬時に天板が外れてしまう恐れがあります。運搬する前に、乾燥機後部の天板突出部分が固定されていることを確認してください。

●前方の脚と、後部の天板突出部分を持って、乾燥機を運搬します。

⚠設置後の休止時間

●本製品の設置後に電源を入れるのが早すぎると、損傷の恐れがあります。これによってヒートポンプに損傷を引き起こす危険があります。

●本製品の設置後、電源を入れる前に最短でも1時間待ってください。

3 準備 電源・給排水管の配置

専用回路の設置

■ブレーカー付単相200V・15A専用回路（アース付）

露出型 パナソニック WK3012(露出型) 相当品

埋込型 パナソニック WN1112K(埋込型) 相当品

※D種接地工事を必ず行ってください。

■漏電しゃ断器について

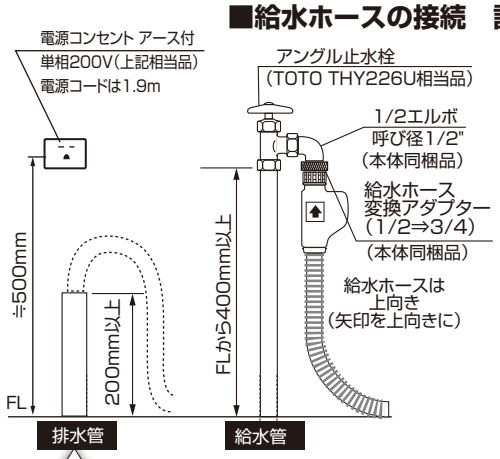
万一の漏電事故時の安全確保のために、漏電しゃ断器の設置が必要です。

※主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合には、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。

推奨品 **住宅分電盤用小型漏電ブレーカー**
定格電流は15A・感度電流30mA（AC100-200V両用）
※既設分電盤の分岐安全ブレーカーHB型と同一サイズなので、そのまま取り替えることができます。

給・排水管　位置と接続

■給水ホースの接続　詳細図

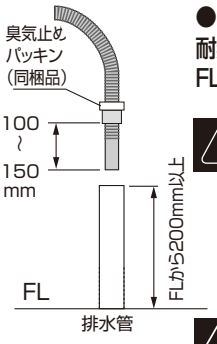


● 給水管
1/2"
FLから400mm以上
立ち上げ

0.1～1.0MPa
(1.0～10kg/cm²)
の範囲でご使用ください。

※給水ホースが真直ぐになる様に、最低200mmは確保して下さい。給水不良の原因となる場合があります。

■排水ホースの接続　詳細図



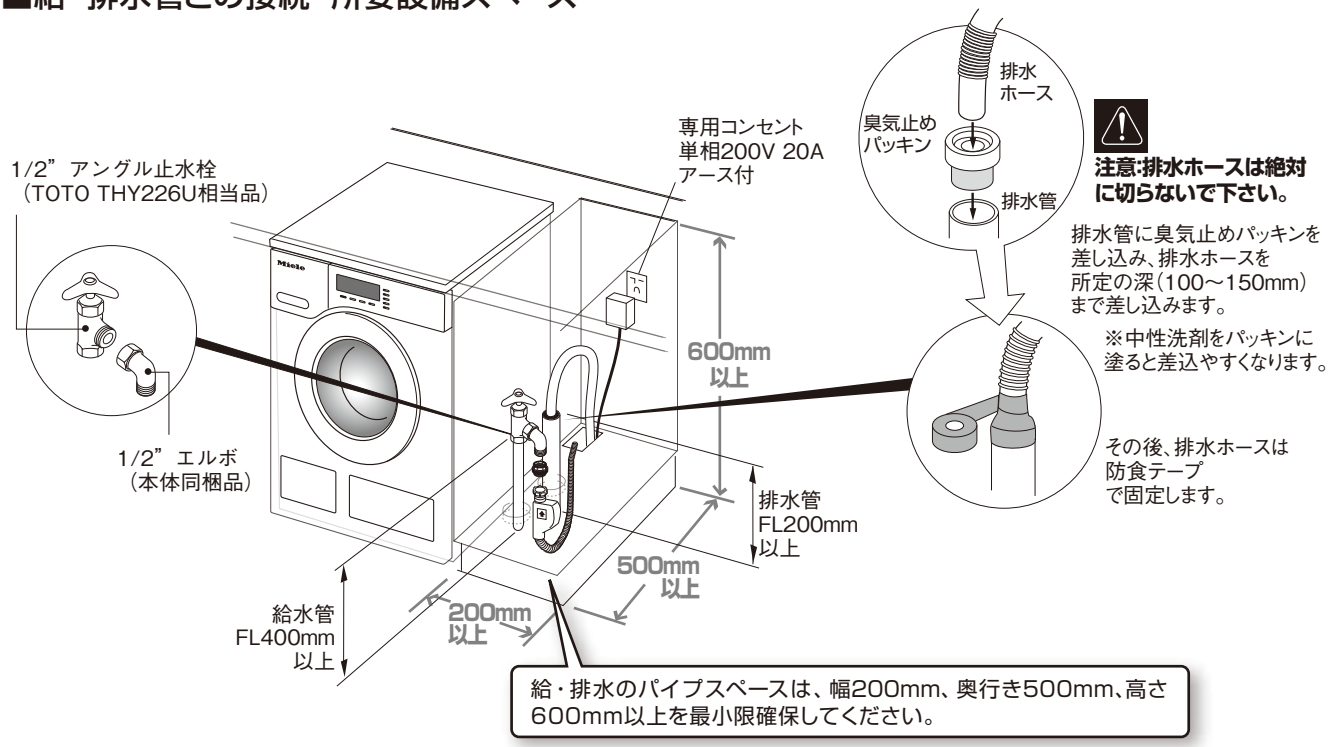
● 排水管
耐熱塩ビ40φ（HT40相当）
FLから200mm以上立ち上げ

ミーレの洗濯機は全てポンプによる強制排水方式です。
排水管は必ず200mm以上立ち上げてください。

排水ホース差し込みは、150mm以内としてください。
※差し込みすぎに注意

★上記の設備例は代表的な方法です。現場に応じて給・排水管、コンセントの位置は変えてください。

■給・排水管との接続・所要設備スペース



注意:排水ホースは絶対に切らないで下さい。

排水管に臭気止めパッキンを差し込み、排水ホースを所定の深（100～150mm）まで差し込みます。

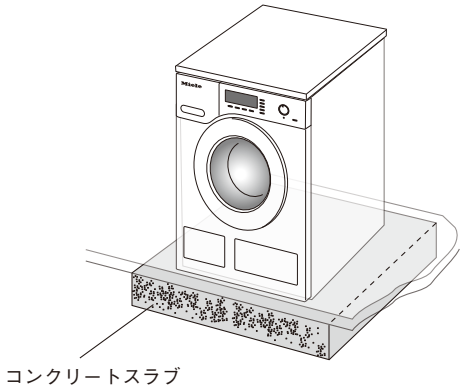
※中性洗剤をパッキンに塗ると差込やすくなります。

その後、排水ホースは防食テープで固定します。

3 準備 所要設備（設置床面の確認／床の補強） ⚠重要

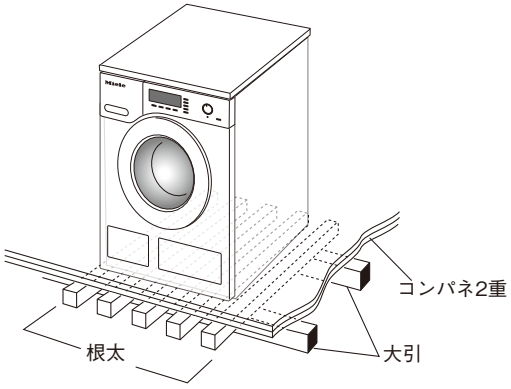
必ず事前に床面の強度を確認し、しっかりとした水平な床に設置してください。

■床下のコンクリート補強



洗濯機を設置する床は、床下が直接コンクリートスラブに密着しているか確認してください。
ユニットフロアなど、床下に空間がある場合は、設置する部分をコンクリートによって補強してください。

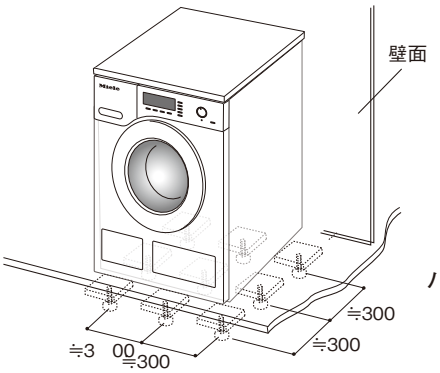
■木造床下を補強する場合



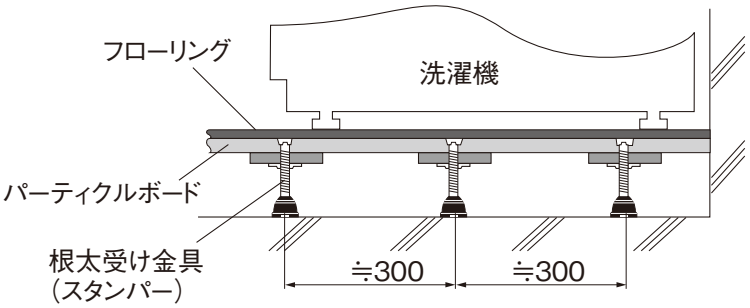
直接コンクリートで補強するのが困難な場合、左図のように根太5～6本+コンパネ2重張で補強してください。
この時、本体の脚真下に根太がくるようにしてください。

※補強しても、木造住宅の2階以上には設置しないでください。

■置床の場合



マンションなどの置床の場合、機器を設置する床下を、根太受け金具（フリースタンパー）９本で補強します。金具の取り付け位置は、概ね下図を参考にしてください。



※いずれの床の場合も、水準器で水平をご確認ください。

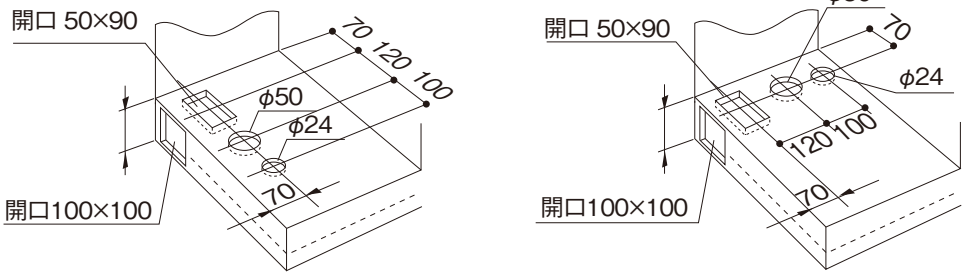
※いずれの床の場合も、水準器で水平をご確認ください。
※本体の下をカーペットなどでふさがないでください。
※本体の周りに糸くずやホコリなどが蓄積しないようにしてください。

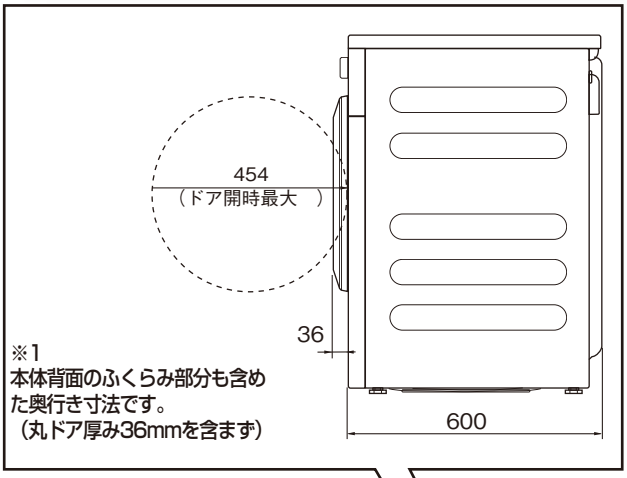
3 準備 隣接するキャビネットの加工

W1 & T1

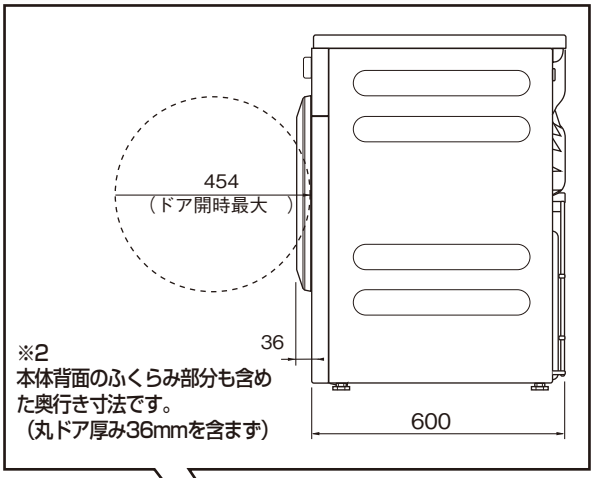
■キャビネットの開口

■隣接キャビネットの加工例〈給・排水管の立ち上げ〉



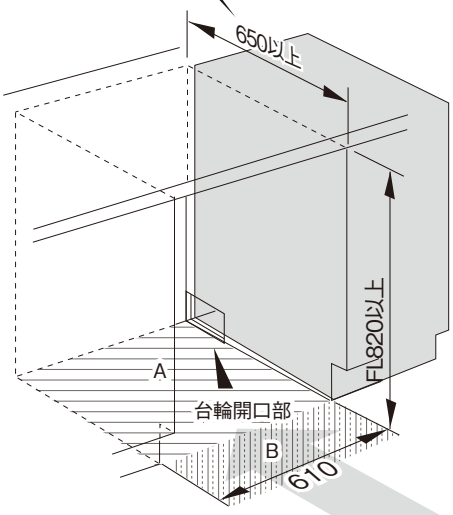


※1
本体背面のふくらみ部分も含めた奥行き寸法です。
（丸ドア厚み36mmを含まず）

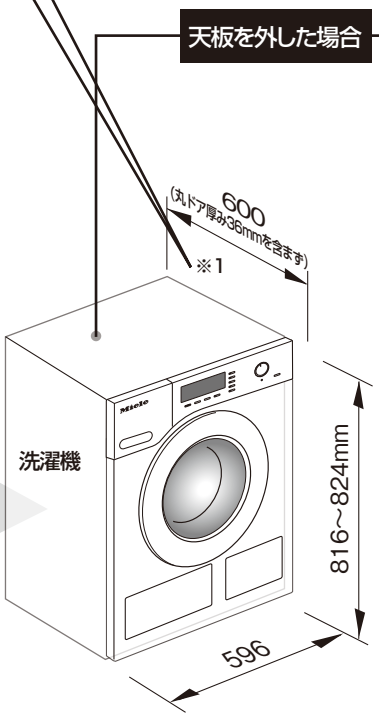


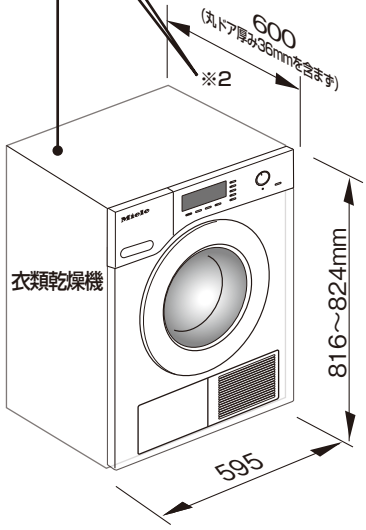
※2
本体背面のふくらみ部分も含めた奥行き寸法です。
（丸ドア厚み36mmを含まず）

必ず650mm以上の奥行きを設けてください。



天板を外した場合

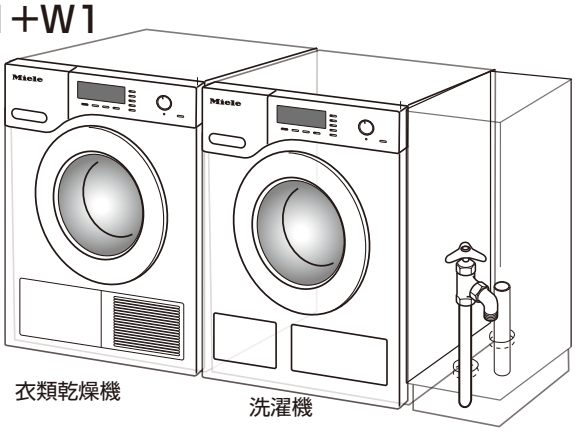


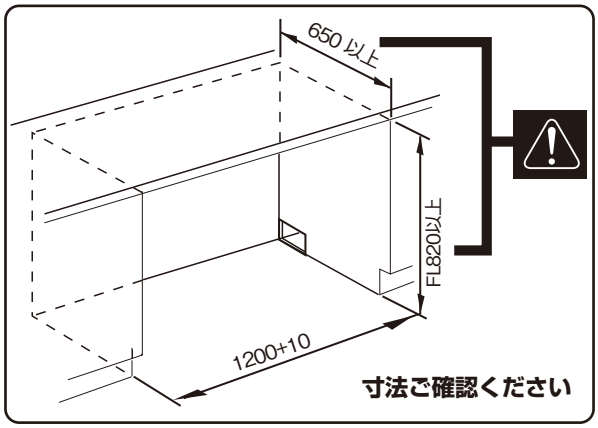


- キャビネット天板下部から床面まで820mm以上確保してください。
- メンテナンスなどで機械を前に引き出せるよう設置床面Aと機械前床面Bは同レベルに仕上げてください。

3 準備 並列に設置する場合の注意点

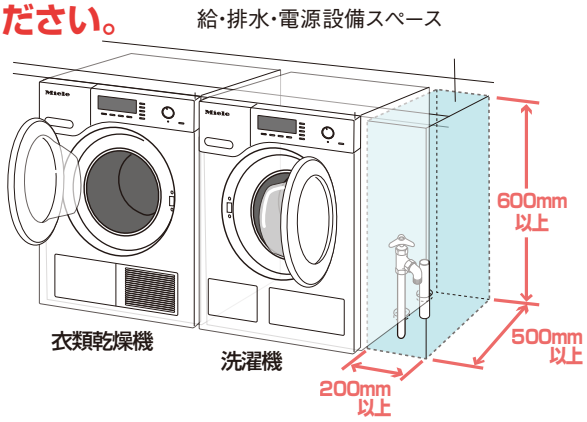
T1+W1





洗濯機を右側、衣類乾燥機を左側に設置してください。
（洗濯機は右開き、衣類乾燥機は左開きのため）

所要設備は必ず洗濯機右側に設けてください。衣類乾燥機側に設けると、給排水ホースが届きません。



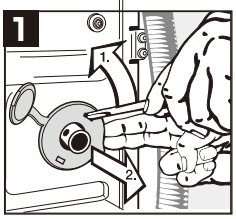
4 設置の前に･･･

⚠ W1洗濯機：輸送用固定ボルトの取り外し

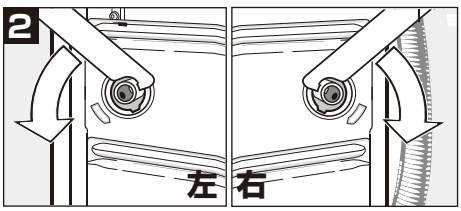
●本製品は輸送・運搬のために洗浄ドラムを固定してあります。
設置前に必ず、この輸送用固定ボルト 2ヵ所 を取り外してください。

⚠ **ボルトを外さずに機器を稼動させると、本体が動くことがあり危険です。また故障の原因になります。**

●輸送用固定部品なしで本体を運搬しないでください。ボルトを外して移動させた場合、ドラム損傷の要因となります。

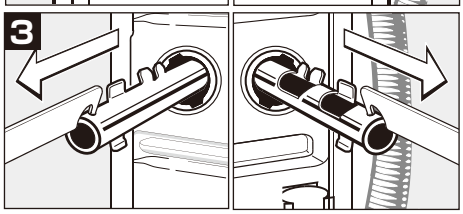


マイナスドライバーなどを使って、固定ボルトのカバーを手前に引き出し、取り外します。

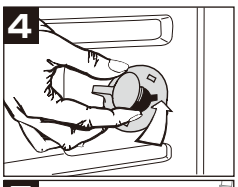


同梱のレンチを使って固定ボルトを90°回してゆるめます。

右:時計方向
左:反時計方向

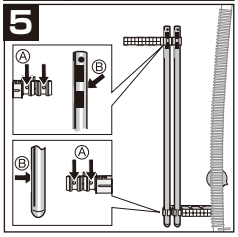


レンチのカギ部分を使ってボルトを手前に引き出します。



目隠しカバーをはめこみます。
取り外したボルトは、背面の保管用フックに固定しておいてください。

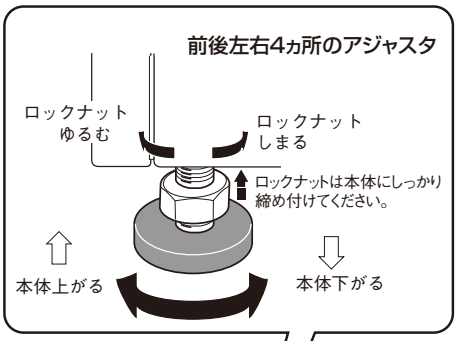
※ボルトは転居などの際に必要になります。

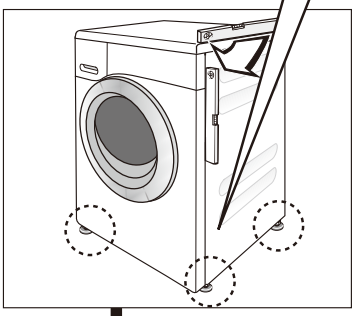


⚠端面などでケガをするおそれがありますので、必ず目隠しカバーをはめこんでください。

4 設置の前に・・・

⚠ W1洗濯機：本体の水平を確認（異常振動を防ぐために）



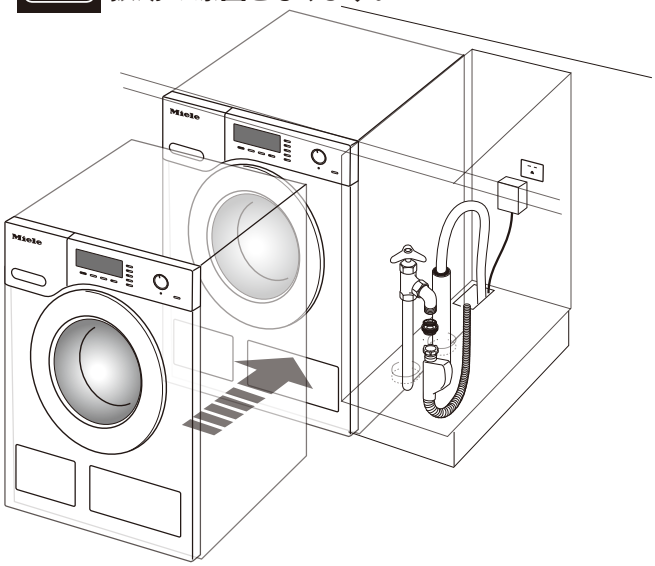


その後、本体をキャビネットに
押し込む（ビルトイン）

確認・チェック

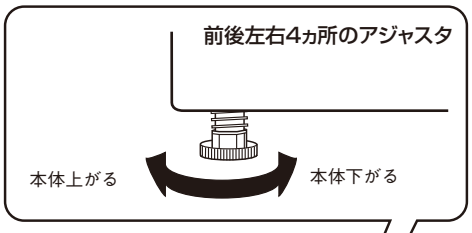
- 機器本体の水平がとれていない場合、脱水時の振動や異音、がたつきの原因になります。
  本体4箇所のアジャスタ脚で高さを調整し、水準器で床の水平レベルと、本体が傾いていないかを再度確認してください。
- キャビネット下に本体を押し込んだ後も、水準器で床の水平レベルと、本体が傾いていないかを再度確認してください。

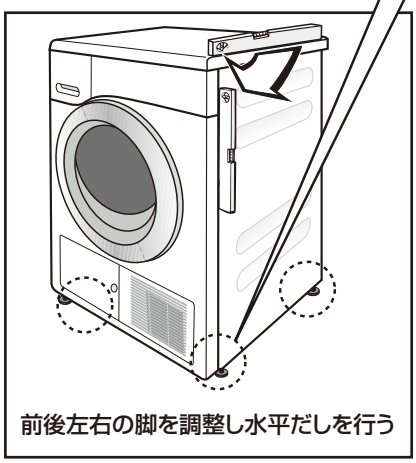
また調整後は必ずロックナットを締めておいてください。振動の原因となります。



設置後、必ず試運転を行ってください。水漏れや振動、異常音がないこと、正常に排水することをご確認ください。

⚠ T1衣類乾燥機：本体の水平を確認

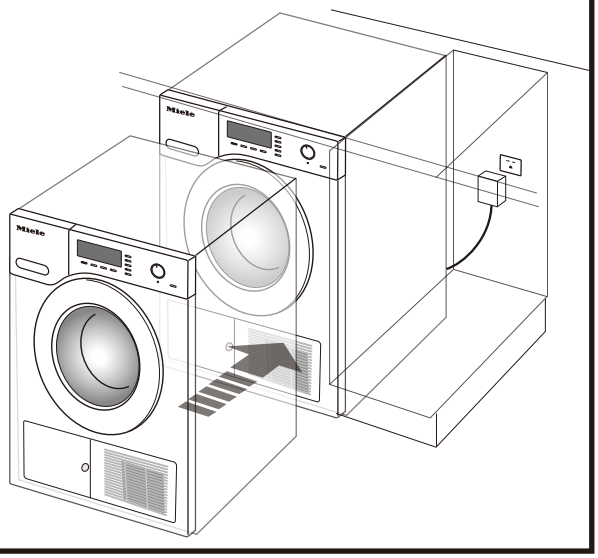




その後、本体をキャビネットに
押し込む（ビルトイン）

確認・チェック

- 乾燥機のドアの開閉を妨げる位置に、ドア・引き戸・開き戸などがないことを確認してください。
- 安全で正しく使用するために、乾燥機は完全に水平に設置する必要があります。床が水平でない場合は、ネジ式の脚で調整します。

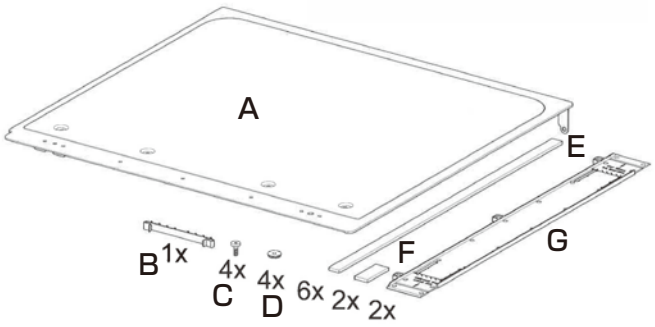


5 設置 ビルトインカバーの取り付け

ビルトイン設置する場合は、必ず機器の天板を取り外し、上面にビルトインカバーを取り付けてください。

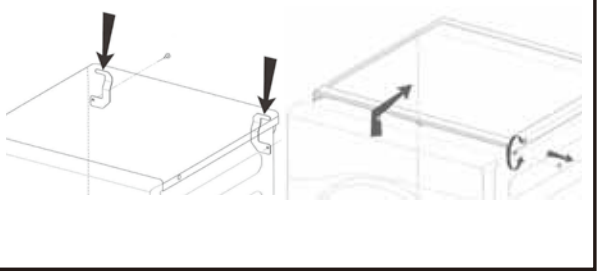
W1洗濯機

準備する工具



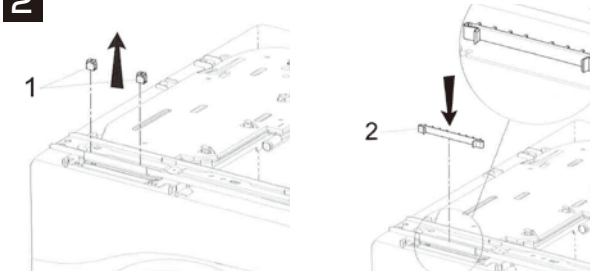
A ビルトインカバー／B アダプター ／C 固定ビス（前）
D ワッシャー ／E 防振シール（長）／F 防振シール（短）
G スライダー※
※機器の設置状況に応じ機器の下に敷いて使用して下さい。

1



本体後部の天板固定金具左右２箇所を取り外します。（ビスは後でビルトインカバーを固定する際に使用します。）天板両サイドの目隠しキャップに穴を開け、ビスを緩め押し込んで、天板を外します。

2

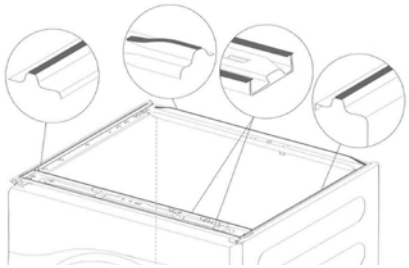


洗剤コンテナ上部にあるホルダーを取り外して、アダプターを取り付けます。

3

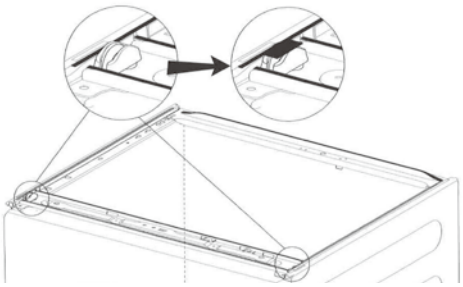
長い防振シールをカットし、ビルトインカバー前部に貼り付けます。

4



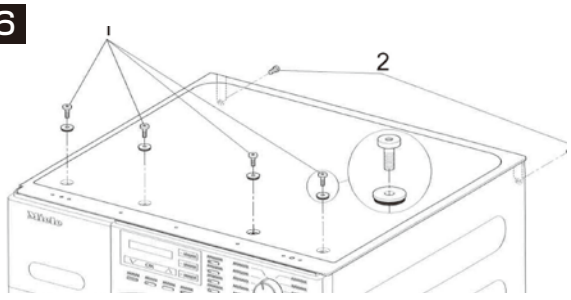
本体の図の位置に防振シールを貼り付けます。

5



短い防振シールを本体左右2箇所のドラムサスペンションスプリングホルダーに貼り付けます。

6

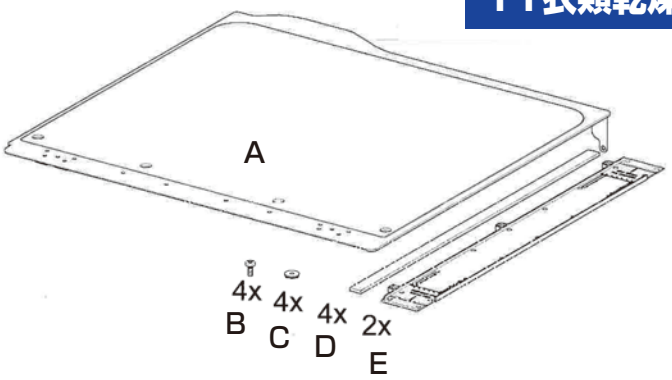


ビルトインカバーの前方４カ所をビスとワッシャーで固定し、後部２カ所を 1 で取り外したビスで固定します。

5 設置 ビルトインカバーの取り付け

ビルトイン設置する場合は、必ず機器の天板を取り外し、上面にビルトインカバーを取り付けてください。

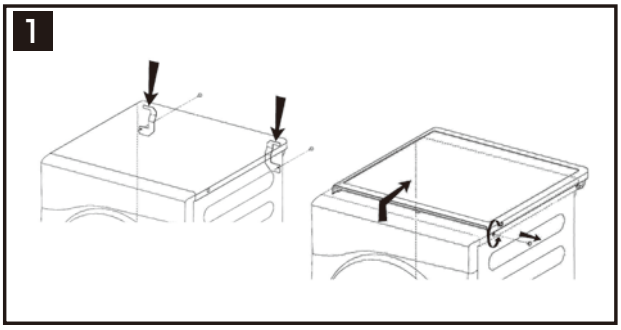
T1衣類乾燥機



A ビルトインカバー　／B 固定ビス ／C ワッシャー
D 防振シール ／E スライダー※
※機器の設置状況に応じ機器の下に敷いて使用して下さい。

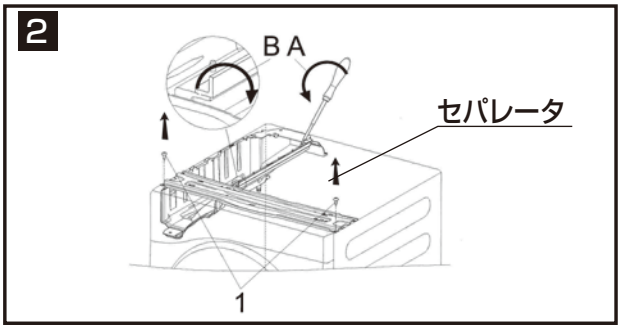
準備する工具

1



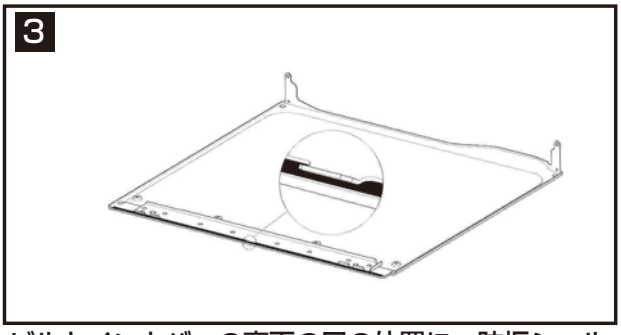
本体後部のビス左右２箇所を取り外します。（ビスは後でビルトインカバーを固定する際に使用します。）天板両サイドの目隠しキャップに穴を開け、ビスを緩め押し込んで、天板を外して下さい。

2



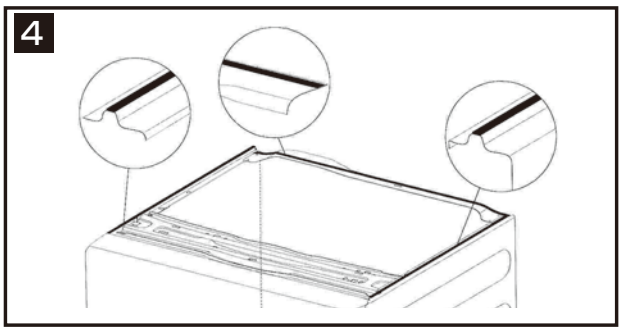
本体前部の左右のビス（1）を外します。同時にセパレータを固定しているフック(6箇所）を外し、セパレータを右に倒します。

3



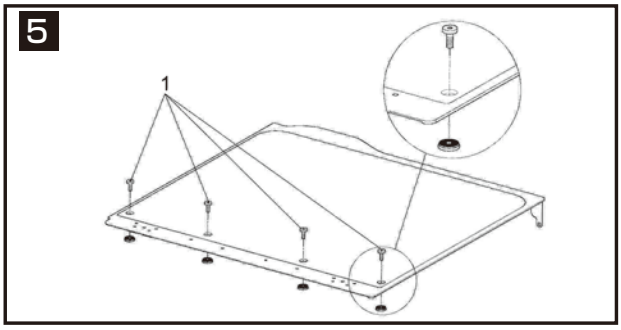
ビルトインカバーの裏面の図の位置に、防振シールを貼り付けます(中央フックの下をくぐらせます)

4



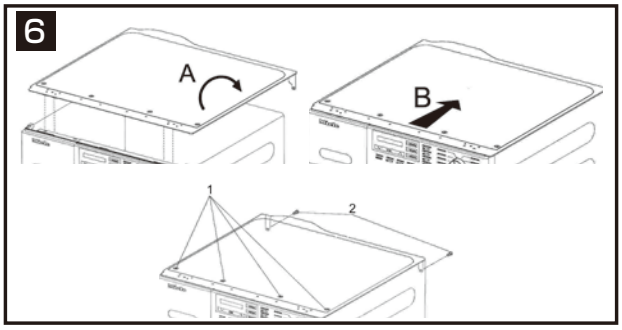
本体の図の位置に防振シールを貼り付けます。

5



ワッシャーのシール側をビルトインカバー側にして表側から固定ビス（B）を差し込みます。

6

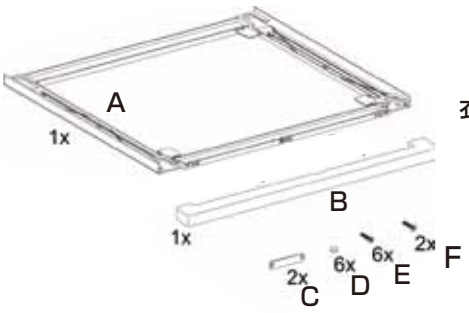


ビルトインカバーを図のようにスライドさせて取り付け、前方４カ所を固定し、後部２カ所を **1** で取り外したビスで固定します。

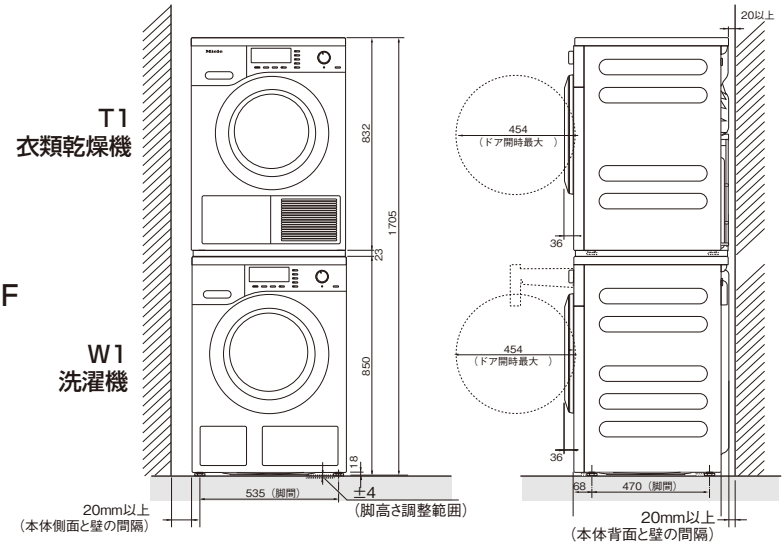
5 設置 2段積み

A W1+T1 2段積みキットWTV501の場合 -1

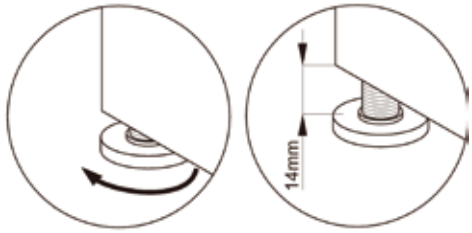
WTV501



A WTV501本体／B 前面化粧カバー
C 脚固定用プレート
D シーリングリング／E 固定ビス（天板用/T20）
F 固定ビス（脚固定用プレート用）

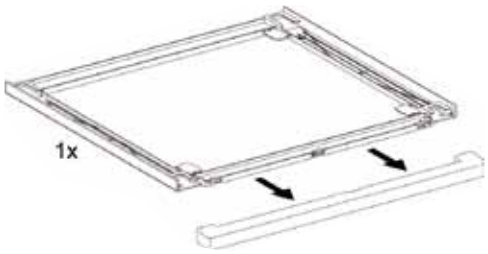


1



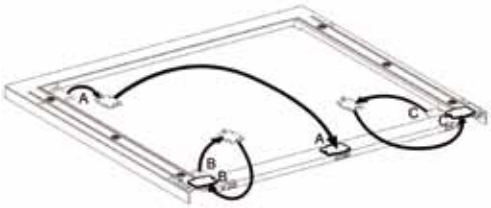
乾燥機の脚高さを14mmに調節します。

2



2段積みキットの前面化粧カバー(B)を外します。

3

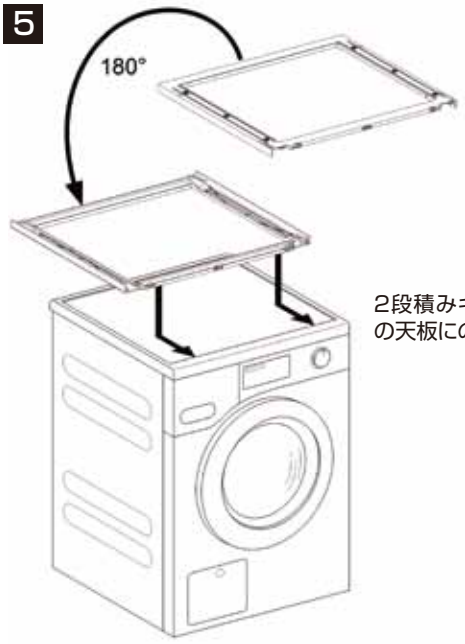


2段積みキットのA,B,Cのプレートを、図のように裏返して取り付けます。

4

2段積みキットの6箇所の孔にシーリングリング(D)を貼ります。

5

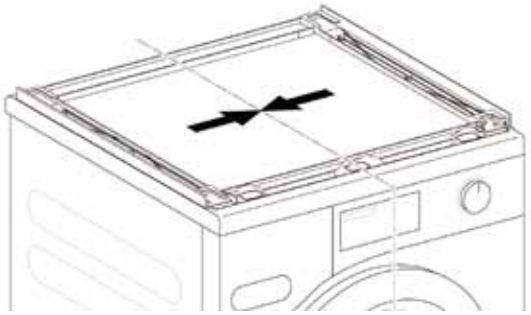


2段積みキットを裏返して、洗濯機の天板にのせます。

5 設置 2段積み

W1+T1 2段積みキットWTV501の場合 -2

6

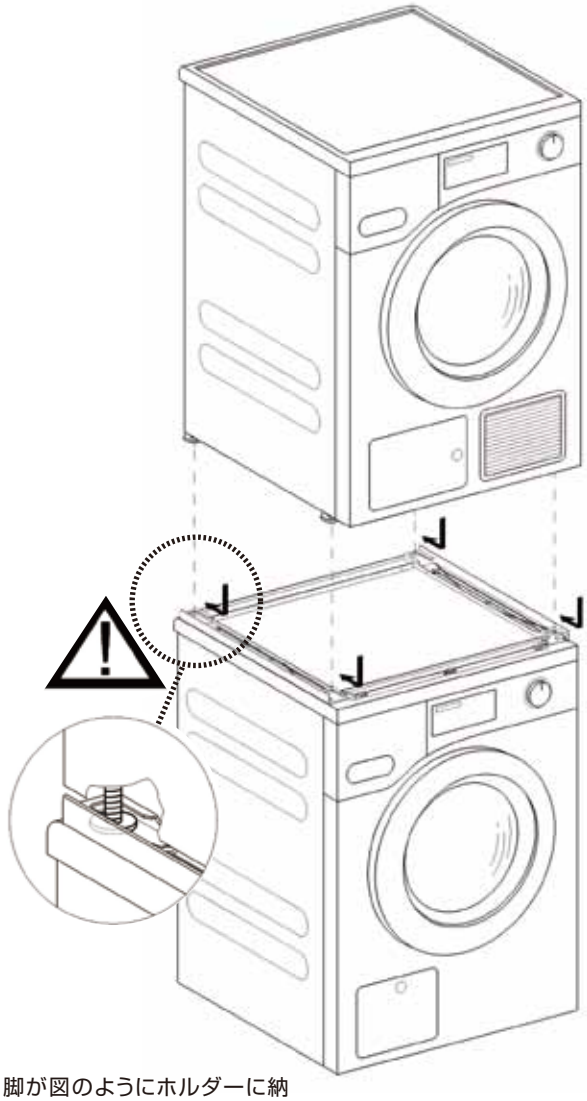


2段積みキットを洗濯機本体の中心に併せ、3で取付けたプレートが洗濯機のリッドエッジに接するまで、キットを前に移動させます。

7

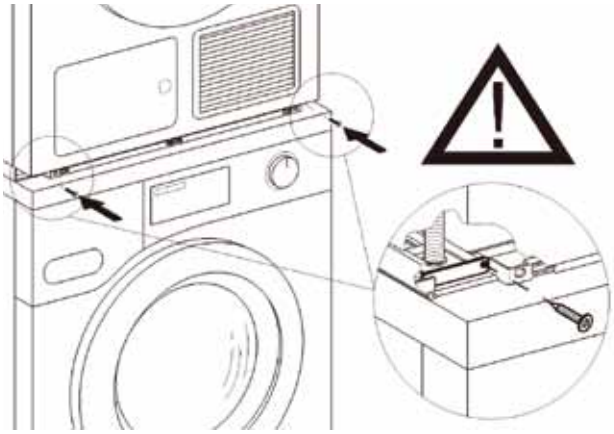
図のように2段積みキットの6箇所を附属の固定ビス(E)で固定します。

8 矢印の方向へ乾燥機の脚を2段積みキットのホルダーに滑らせながら設置します。



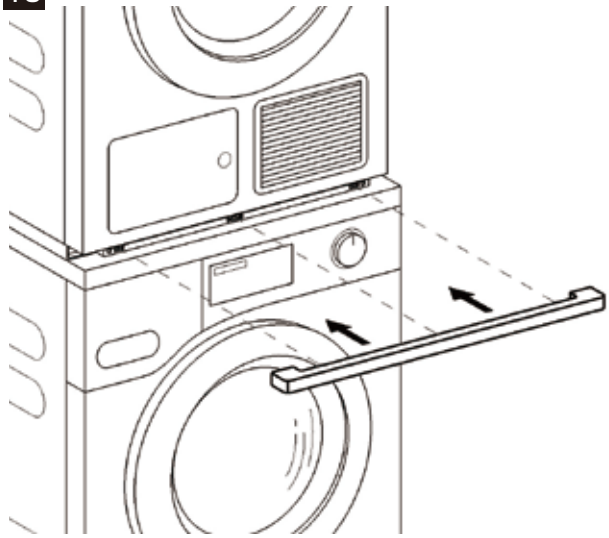
脚が図のようにホルダーに納まるように設置します。

9



乾燥機の左右前脚箇所に、脚固定用プレート(C)を固定ビス(F)で固定します。

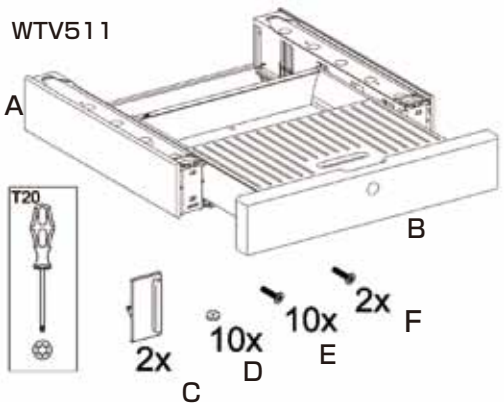
10



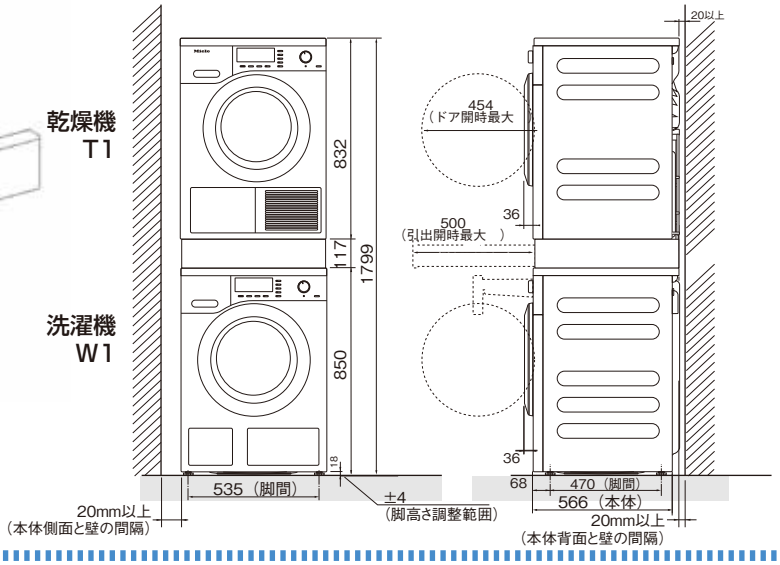
前面化粧カバー(B)をはめ込んで完成です。

5 設置 2段積み

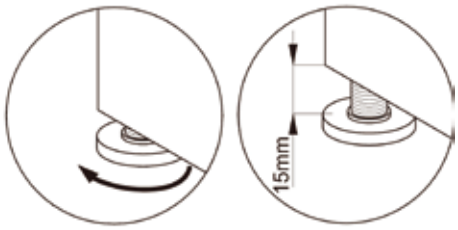
B W1+T1 2段積みキットWTV511の場合 -1



A WTV511本体／B 収納引出し
C 化粧プレート
D シーリングリング／E 固定ビス（天板用/T20）
F 固定ビス(化粧プレート用)

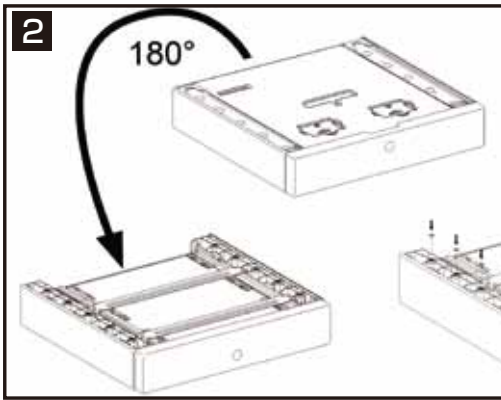


1



乾燥機の脚高さを15mmに調節します。

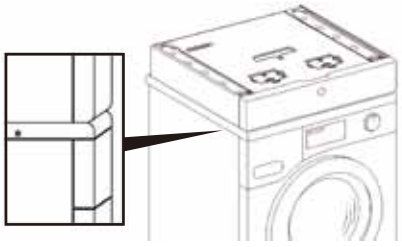
2

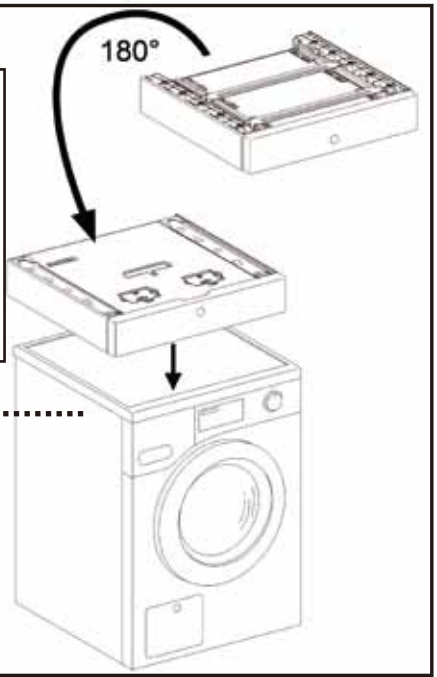


2段積みキットを裏返しにし、10箇所の孔にシーリングリング(D)を貼ります。
※カバーボード(段ボール)は取り外さないで下さい。

3

2段積みキットと洗濯機のフェイシアパネル面合わせ





2段積みキットを図のように表向きに戻し、洗濯機に載せます。

2段積みキットと洗濯機のフェイシアパネルの前面を合わせます。

※カバーボード(段ボール)は取り外さないで下さい。

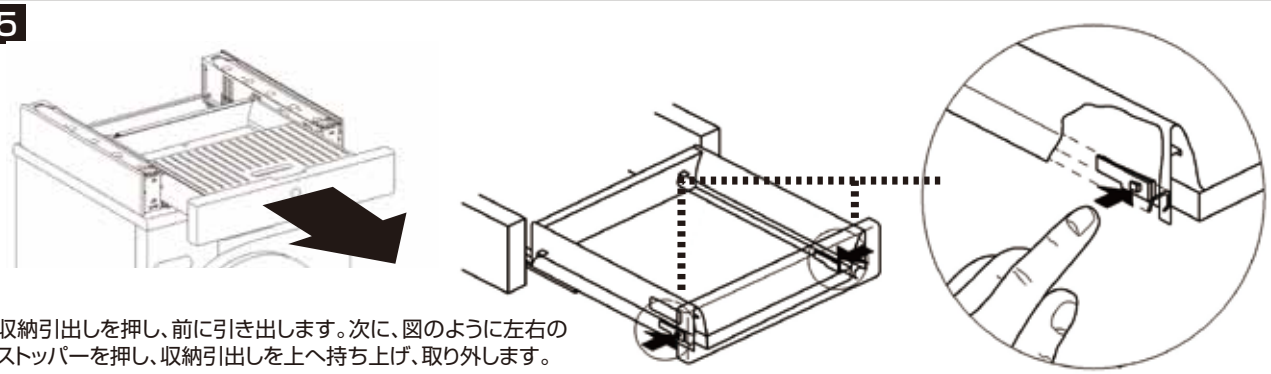
4

図のように2段積みキットの10箇所を固定ビス(E)で固定し、カバーボード(段ボール)を取外します。

5 設置 2段積み

W1+T1 2段積みキットWTV511の場合 -2

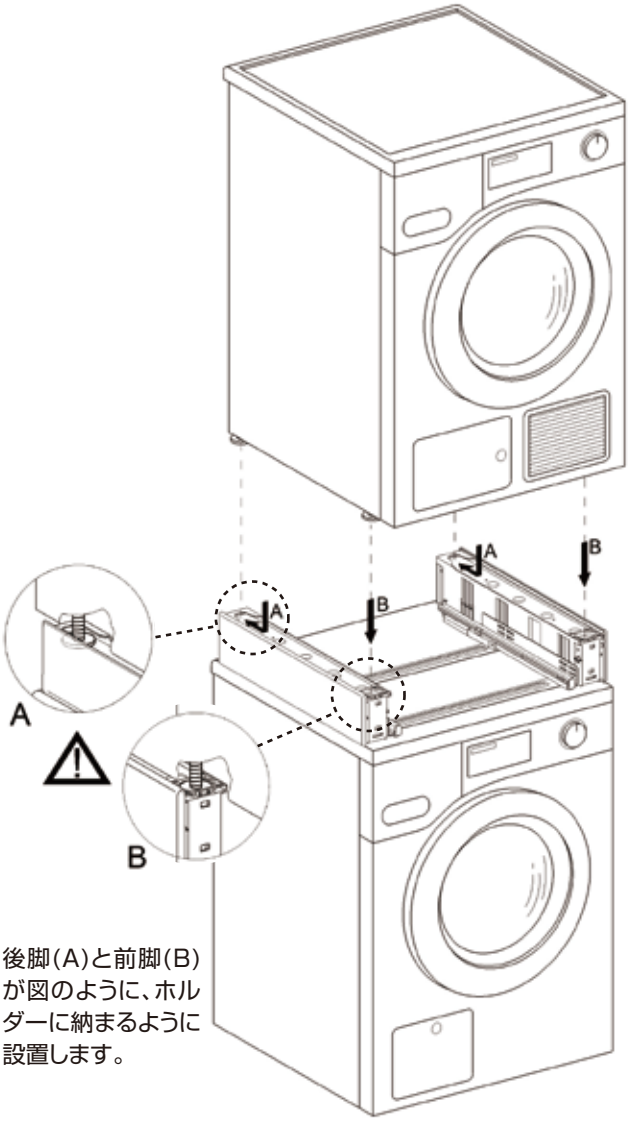
5



収納引出しを押し、前に引き出します。次に、図のように左右のストッパーを押し、収納引出しを上へ持ち上げ、取り外します。

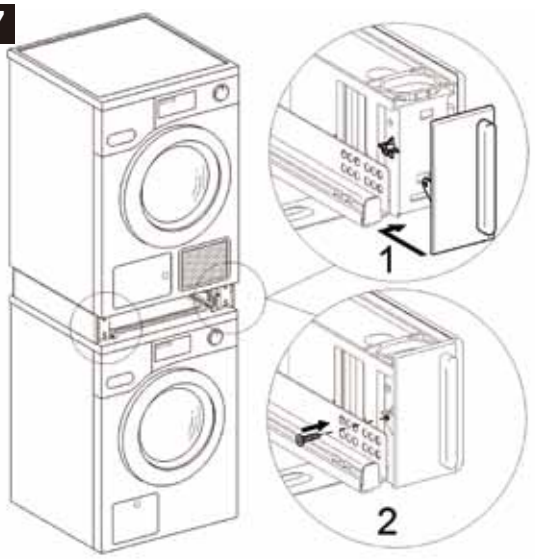
6

矢印の方向へ乾燥機の脚を2段積みキットのホルダーに滑らせながら設置します。



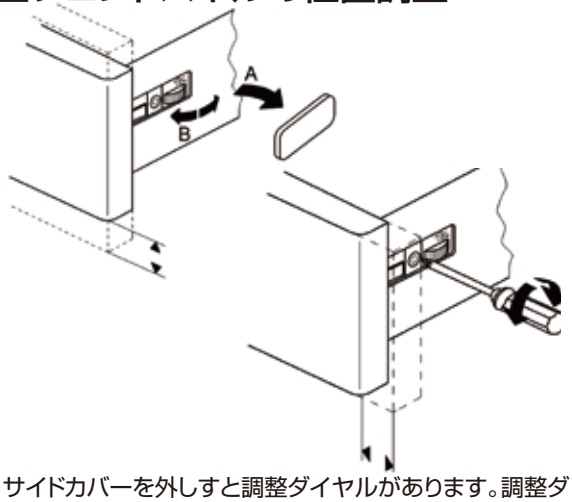
後脚(A)と前脚(B)が図のように、ホルダーに納まるように設置します。

7



2段積みキットの左右に化粧プレート(C)を固定ビス(F)で取付け、収納引出しをもとに戻します。必ず、収納引出しがしっかりと固定されていることを確認して下さい。

■フロントパネルの位置調整



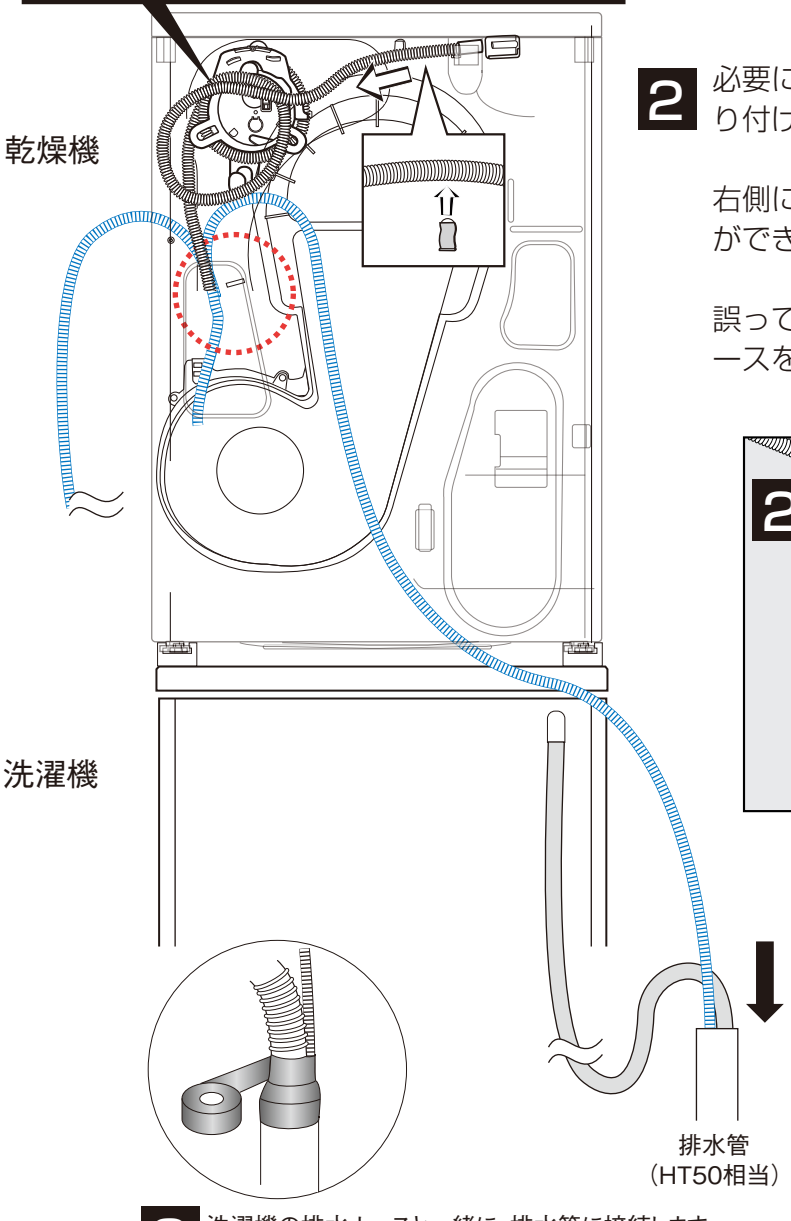
サイドカバーを外しすと調整ダイヤルがあります。調整ダイヤルでフロントパネルの位置を調整することが出来ます。ダイヤルでフロントパネルを上下調節、ドライバーでフロントパネルを左右に調節することが出来ます。

5 設置 T1衣類乾燥機の排水

外部水路への取り付け

乾燥時に生じる水は、乾燥機の背面にある排水ホースを介して排水タンクの中へ集められます。
水は排水ホースを排水管に接続することで、直接排水させることが出来ます。この場合、排水タンクに集められた水を空にする作業が不要になりますが、スチームケアプログラム使用の際には精製水を準備する必要があります。

誤った取り扱いによる排水ホース破損の恐れがあります。排水ホースが破損すると、水が漏れ出して破損を発生させる場合があります。排水ホースを強い力で引っ張ったり、伸ばしたり、ねじったりしないでください。



1 排水ホースを接続部から引き抜きます。

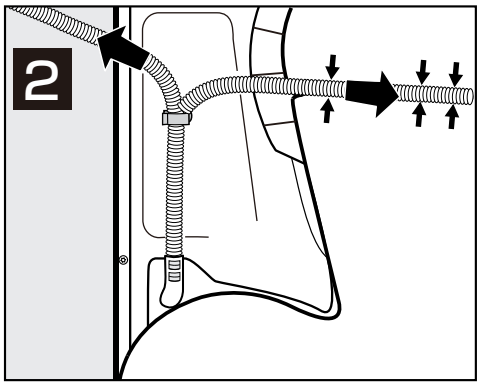
ホースをまっすぐにし、慎重にホルダーから引き抜きます。

ホースに残った水を容器に流し入れます。

2 必要に応じて、ホースを右側または左側に取り付けます。

右側に取り付けた場合、溝に固定させることができます。

誤ってねじれないように、下のホルダーでホースを支えます。



3 洗濯機の排水ホースと一緒に、排水管に接続します。
水漏れに注意し、接続はビニルテープで固定してください。

注意

- **水漏れ、排水不良になることがありますので、ホースは付け根が折れ曲がりすぎないようにくれぐれも注意してください。**
- **排水口からの臭いの逆流を防ぐため、排水管の中にトラップを設けてください。**

6 試運転

W1洗濯機

設置後に試運転を行う場合は、取扱説明書の「初めてお使いになる前に」の手順に従ってください。

T1衣類乾燥機

設置後に試運転を行う場合は、取扱説明書の「初めてお使いになる前に」の手順に従ってください。

設置後の注意
TCJ680はヒートポンプ式衣類乾燥機の為、コンプレッサーを搭載しています。
機器は不具合を起こす場合があるので、製品設置後、1時間は機器の電源を入れないでください。

初期設置画面について
初期設定画面は、合計運転時間が1時間以上になるまでは、電源を入れる度に表示されます。

試運転プログラムについて

- 乾燥する衣類がない場合
  Further programes/温風/60分に設定しプログラムを開始してください。
  ※設定方法については取扱説明書でご確認ください。

- 乾燥する衣類がある場合(3kg以上)
  Cotton(コットン)プログラムを開始してください。

ミーレ・ジャパン株式会社

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-24-12オリックス目黒ビル4階
電話(03)5740-0030　FAX(03)5740-0035

商品の詳細・ご購入は、ミーレオンラインページ
http://store.miele.co.jp/
またはミーレ・カスタマーサービス（通話無料）までお問い合わせください。
ミーレ・カスタマーサービス
固定電話：0120-310-647(フリーダイヤル)
携帯電話：0570-096-300(ナビダイヤル)
■受付時間　月～金 9：00～17：00(土日・祝祭日休業)